

あ

【雨庭】

建物の敷地内や道路等に降った雨を集め、一時的に貯留し緩やかに地下へ浸透させるために設ける植栽地。レインガーデンとも呼ばれる。

【ウォークابل】

「歩く」の“walk”と「～できる」の“able”を組み合わせて作られた「歩くことができる、歩きやすい」という意味の形容詞“walkable”（ウォークابل）の名詞形で、地域環境の歩きやすさを表す概念。

【雨水流出抑制施設】

浸水被害の軽減及び健全な水循環の保全を図ることを目的とし、雨水の流出を抑制する施設。浸透ます・浸透トレンチなどの地下浸透施設と、調整池・貯留タンクなどの一時貯留施設がある。

【オープンスペース】

道路や広場等の公共施設及び民間施設における公開空地等の公共的な空間。

か

【狭隘道路】

建築基準法第 42 条第 2 項に該当する道路など現況幅員 4メートル未満の道路。狭隘道路に接して建物を建てようとする場合や門・塀・擁壁を築造する場合は、幅員 4メートルの道路機能を確保するため、「仙台市建築行為等に係る後退用地等に関する要綱」に基づき、仙台市との協議や届け出が必要となる。

【グリーンインフラ】

コンクリート等の人工構造物による従来型の都市基盤（グレーインフラ）に対して、良好な

景観形成やヒートアイランド現象の緩和、水害リスクの低減など、自然環境が持つ多様な機能に着目し、それを都市基盤として活用するという考え方（取組み）。

【グリーンビルディング】

エネルギーや水の使用量削減、施設の緑化など、建物全体の環境性能が高まるよう最大限配慮された建築物の総称。

【景観地区】

良好な景観形成を図るため、建築物の形態意匠・高さや壁面の位置等について、総合的に規制するために都市計画で定める地区。

【建築物等緑化ガイドライン】

開発行為と建築行為を行う場合に敷地内の緑化を義務付ける緑化計画制度の運用に際して、質の高い緑化を実現するための具体的な緑化手法や参考例について、事業者と緑化の考え方を共有することを目的として示したもの。

【国土強靱化地域計画】

「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に基づき、大規模自然災害等のリスクを減らすための事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的に実施し、しなやかで強靱な地域づくりを推進するための計画。

【コンベンション】

国内外からの参加者を集めて行われる大きな会議や学会などの催し。

さ

【市街地再開発事業】

既成市街地の整備手法の一つであり、土地利用上及び防災上問題を抱えた市街地において敷地の統合、共同建築物への建て替え、街路・公園などの公共施設とオープンスペースの確保などにより、快適で安全な都市環境を再生する事業。

【自転車ネットワーク路線】

「仙台市自転車の安全な利活用推進計画」において、自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に選定された、面的な自転車ネットワーク構成する路線。

【仙塩広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】

都市計画法第 6 条の 2 の規定に基づき、広域的な観点から都市計画区域の土地利用などの基本的な方向性を示し、都市計画の一体性や総合性を確保するため宮城県が策定した方針

【仙台市基本計画】

21 世紀半ばを見据えた仙台の目指す都市の姿とその実現に向けた今後 10 年間の取り組みの方向性を示す計画。

【仙台市バリアフリー基本構想】

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき策定する、仙台市全体のバリアフリーの実現に向けた基本的な方針及び重点的に整備を進めるべき地区の候補地やその優先順位等をまとめた構想。

【仙台市「杜の都」景観計画】

「杜の都の風土を育む景観条例」をはじめとする自主条例など、これまでの景観施策を更に充

実させ、風格ある「杜の都」の景観形成を図るため、景観法第 8 条に基づき策定する計画。

【総合設計制度】

敷地内に一般に公開された広場や緑地等の空地を確保する良好な建築計画に対して、容積率や高さ制限等の緩和を行い、市街地環境の整備、改善を図る制度。

た

【地域防災計画】

災害対策基本法に基づき、仙台市の地域における地震・津波や風水害等の各種災害に対して、市民の生命、身体、財産を保護するとともに被害を最小限に食い止めることを目的に、市民による「自助」、地域、企業等による「共助」、本市や関係機関による「公助」、それぞれにおける取組の大綱について定めたもの。

【地区計画】

地域特性に応じたきめの細かい環境整備を行うために、住民等の合意のもとに都市計画として定めるもの。具体的には、地区内の道路、公園の配置や建築物の用途、大きさ、デザインを定めるもののほか、一定の条件のもとに容積率制限や斜線制限を緩和するものもある。

【駐車場附置義務条例】

「建築物における駐車施設の附置及び管理に関する条例」のことで、駐車需要への対応や、違法路上駐車の防止を図るため制定した条例であり、商業地域等において一定規模以上の建築等を行う事業者に対して、建築物又は建築物の敷地内への駐車施設の附置を義務付けている。

【DID（人口集中地区）】

国勢調査で定義される統計上の地区であり、国勢調査基本単位区等を基礎単位として、原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接し、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域

【都市機能】

都市の持つ様々な働きやサービス。商業、業務、工業、流通、居住などの機能をはじめ、これを支える交通、ライフライン、各種処理施設などの機能に加え、教育、文化、芸術、交流、娯楽、政治、行政などの都市におけるあらゆる活動主体の多様なニーズに対応する機能の総称。

【都市計画マスタープラン】

都市計画法第18条の2の規定に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、市町村が定めるもので、各市町村の都市計画はこれに基づき行われる。

【都市再生特別地区】

都市再生緊急整備地域内において都市の再生に貢献し、特別の用途、容積、高さなどの建築物の建築を誘導する必要がある区域として、都市計画で定める地区。

【都市施設】

道路、公園、下水道等、都市機能の確保のために必要なまちづくりの骨格となる施設。このような施設のうち必要なものを都市計画決定している。

【土地区画整理事業】

健全な市街地として整備するために、土地所有者が土地の一部を提供しあい、道路、公園、下

水道などの公共施設を総合的に整備するとともに、敷地の利用を増進するため個々の宅地を整然と道路に面するよう、区画形質の変更を行う事業。

な

【ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング（ZEB）】

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物。国はZEBの実現・普及に向けて、エネルギー消費量の削減割合等に応じて、ZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Orientedの4段階の区分を設けている。

ま

【MICE】

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

【みどりの回廊づくり】

仙台駅を中心として半径2キロメートルを目安に公共施設、公園、水辺の緑化、並木道の整備。緑を感じ、歩いて楽しめる都心の街並みづくり。

【無電柱化】

電線（電力線・通信線など）及び関連施設を地中に埋設し、道路上から電柱を無くすこと。景観の改善や防災、路上スペースの確保などを目的に行われる。

や

【優良建築物等整備事業】

市街地の環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給などに資するため、土地利用の共同化、高度化などに寄与する優良建築物などの整備に対して補助を行う事業。